

KiKiの広場

2019年 12月 1日

cafe NO.110
KiKi



今年最後の月になりました。2019年は、平成最後の年であるとともに、令和元年の幕開けの年でもありました。平成は31年4月まででしたが、そういえば平成元年はどんな年だったかと調べてみると、週休二日制がスタートし、消費税法が施行され消費税3%の徴収が始まった年でした。外国では、中国で天安門事件が発生し、ドイツではベルリンの壁が崩壊し東西が統一されるなど、世界でも大きな転機となる年でもありました。

では、「ヒストリア字部」や「絵本カフェ KiKi」にとって、令和元年はどんな年だったかなと考えると・・・やはり、10年目に突入したことでしょうか。市民のみなさんの想いで残ったこの旧宇部銀行館「ヒストリア字部」。これをどう活かすか、館長が試行錯誤しながらたくさんアイデアを打ち出していく姿をずっと見てきました。宇部市を活性化したいーその想いを、令和の時代になってもスタッフ一丸となって引き継いでいきたいと思います。

12月の予定			
休館日	10日(火)	定休日	毎土・日曜日
臨時休業日	2日(月)		
13時まで営業	9日(月)・23日(月)		



「今月のケーキ」・・・「ガトーショコラ」 350円

シンプルな中にも深い味わいがある定番の人気者。ベルギー産のチョコレートを使用し、甘味を抑えた濃厚な口当たりで手作り感あふれる逸品です。



今月のお気に入り&本棚・・・「みんな大好き!クリスマス!!」
～「聖なる夜に」「クリスマスってなあに?」「わたしのすてきなクリスマスツリー」「サンタさんのうちへいけるかな」 など～



「聖なる夜に」は、字のない絵本です。作者は、同じく字のない絵本「天使のクリスマス」のピーター・コリントンです。その日に食べる物もない貧しいおばあさんに、不幸なことが次々と起こります。それでもおばあさんの心は善意で満ちています。おばあさんの優しさに触れた教会に飾られた聖人たちの人形が、奇跡を起こしてくれます。何度も何度も繰り返し読みたくなる本です。聖人たちが奮闘する姿も楽しいです。

「クリスマスってなあに?」は、イエス・キリストの誕生から、クリスマスを迎える準備やお祝いの習慣など、子どもたちに知ってほしいクリスマスの全てが、わかりやすい言葉で語られています。表紙の絵も素敵ですが、中のイラストも3色刷りの丁寧で可愛らしい絵が、本いっぱいにちりばめるように描かれています。



「わたしのすてきなクリスマスツリー」は、「クリスマスのぼんにね、まどのそとをのぞいたの。そして見たの、とってもすてきなながめがね」で始まります。見たのは、庭のもみの木。森の生き物たち自身が、そのもみの木を次々と飾っていきます。色彩豊かな絵と共に、それぞれ生き物たちによせる言葉が詩のようで、とても厳かで美しい絵本です。「サンタさんのうちへいけるかな」は、クリスマス前の

晩に、本当にプレゼントが届くか心配になったけんくんが、ねこのトムに導かれてサンタさんのうちに行くお話です。怪物の国・お菓子の国・乗り物の国など色々な国の迷路に挑戦しながら行きます。隅々まで細かく書き込まれていて、迷路もイラストも楽しめる絵本です。



ほっとフレイク

ヒストリアには、アイドルKちゃんがありますが、実は今年6月、2代目学生スタッフのMくんにも赤ちゃんが誕生しました。結婚式にも私たちみんな招待されましたが、Mくんのヒストリアへの思いを感じ、一緒にお祝いできてとても嬉しかったです。ヒストリアを卒業してもなお、繋がりがあるといのは有難く、仲間として幸せなことだなあとつくづく思いました。Mくんも今は、新米パパとして新米ママを助けて、頑張っていることでしょう。